

# 年金を下げられ保険料値上げなんてひどい!



## 高齢者から市へ怒りの声

# 旭民報

2012年  
8月23日  
=再刊=  
第540号

=連絡先=

発行所 日本共産党尾張旭市委員会  
0561-521-5894 FAX 51-4011  
川村つよし 090-2927-3776  
さかきばら利宏 090-22266-7284

8月1日から発送された介護保険料の知らせに市へ苦情の電話が相次いでいます。

「年金を下げられ、保険料は値上げなんてひどい!」

4月に旭民報(536号)でお知らせした通り、尾張旭市の介護保険料は基準月額で150円の値上げとなりましたが、県内で安い方から11番目です。

一方、比較的所得の多い人へはこれまでより負担をお願いしています(所得階層の多段階化)。

いったい去年よりどれだけ保険料が値上がりしたか、名古屋市と比較するといくら違うかなど、所得ごとにまとめてみました。

### 所得600万円以上で年額1万5200円値上げ

#### 一部値下げの階層も

昨年度と今年度の尾張旭市の介護保険料を比較したのが左表です。低所得層の所得区分は同居する方の所得状況も影響し説明が煩雑なので、ここでは「本人所得125万円未満で、6種類の保険料がある」程度の説明にします。

昨年度まで200万円以上は一律でしたが、今年度から250万、400万、600万で区切っています。400万円以上の方は年額1万円以上の値上げとなりましたが、これにより基準額の値上げ抑制を図っています。

余談ですが、基準額と聞くと平均的な階層と思いがちですが市民税が課税されるか・されないかの境界線です。「市民税が課税されている」「イコール「負担能力がある」。だから割り増しにするということです。基準額という呼称に疑問も感じますね。

### 尾張旭市介護保険料昨年度との比較

所得	昨年度	今年度	値上げ額
所得125万円以下	24000	22400	▲1600
	36000	32400	▲3600
	36000	37300	1300
	40800	42300	1500
	48000	49800	1800
52800	54800	2000	

所得	昨年度	今年度	値上げ額
125~190	60000	62300	2300
190~200	60000	69800	9800
200~250	72000	69800	▲2200
250~400	72000	74700	2700
400~600	72000	82200	10200
600~	72000	87200	15200



### 尾張旭市と名古屋市との比較

	尾張旭	名古屋	差額
所得125万円以下	22400	29370	6970
	32400	42430	10030
	37300	48960	11660
	42300	55490	13190
	49800	65280	15480
54800	71810	17010	

所得	尾張旭	名古屋	差額
125~190	62300	81600	19300
190~200	69800	81600	11800
200~250	69800	97920	28120
250~400	74700	97920	23220
400~600	82200	120770	38570
600~700	87200	120770	33570
700~1000	87200	137090	49890
1000~	87200	150140	62940

次に、名古屋市と比べてみます。

どの所得階層でも尾張旭市より名古屋市のほうが高いです。

125万円以上を見ると、所得階層の多段階化を名古屋市はさらに細分化しています。

尾張旭市では600万円以上を一律としています。名古屋市はそれ以上に700万、1000万でも区切っています。現役並もしくはそれ以上の所得層には能力に応じて負担をお願いするよう、尾張旭市もさらに細分化の検討を進めるべきです。

### 解決するには

#### 政府を変えてこそ

高齢者から苦情がでるのは当然です。年金引下げ理由「消費者物価下落」も大型家電の下落が原因で、生活実感と合わず、おまけに相次ぐ社会保険料の値上げ。今春、介護保険料は全国平均で2割上昇と言われますが、これがこれまで出していたものをかさねてきたことが大きな原因の一つです。地方自治体の努力だけでなく、国民生活を守る政府に変えることが必要です。